



本日のプログラム

SAA: 吉田 康志 様

- 開会点鐘 (12 時 40 分点鐘)
- ロータリーソング「手に手つないで」

会長挨拶

会長 舟元 英一 様



皆様こんにちは。季節も小雪から大雪へと確実に移りつつあります。先般、所用で富山まで行く用事がありまして高速を走行していましたが、名残の紅葉に加えて、立山連峰ももうすっかり冠雪してしまっていて、もうこういう時期になったんだナァと時節の移り変わりの速さを痛感致した次第であります。

ところで、先ごろ、キューバのカストロ前議長が亡くなったとの記事が新聞に大きく取り上げられていました。

カリブ海に浮かぶ小さな島の元元首が亡くなった位でどうして世界の重大ニュースに取り上げられるのか。正に矜持をもって人生を貫いた生きざまにあるのではないかと思います。

カストロ前議長といえば、例の顎髭、葉巻、軍服のイメージが印象的ですが、顎髭と葉巻はゲリラ戦でのハエ、アブ等の防御であったといわれていますが、著名な出来事として、米ソの冷戦時代に旧ソ連がキューバにミサイル基地を建設しようと企て、当時のアメリカ大統領ケネディ大統領が海上封鎖し、核戦争の危機が現実味を帯びた事件でも有名でありますし、国内においては、キューバ共産党を支配する独裁者でありながらカリスマ的人気があったのは、彼は、もともと、弁護士であり、裕福な家に生まれながらも当時のアメリカ一辺倒の傀儡政権を革命により打倒し、また、マフィアの経営していたカジノを追放する等、何よりも、国家元首に就いた後は、社会主義国の指導者に一般的な自己の巨大な肖像画や銅像を作らすことによる偶像崇拜をさせなく、ご自身の農場等も私物化することなく国に提供したからだといわれている。

何よりも、アメリカ本土から僅か100キロ少々しか離れてない島国でつい最近まで大国アメリカと対峙し、南米のラテンアメリカの幾つかの国の左派勢力に強い影響力を与え、そのために、CIA及びマフィア等から、638回の暗殺が計画されたといわれており、それをことごとく回避してきた点も英雄としてあがめられている所以であろうと思われるのである。

また、彼は、親日家であり、昭和天皇が崩御した際も喪に服しており、外国要人としては珍しく原爆ドームにも訪れ「人類の一人としてこの場所を訪れ慰霊する責務がある。」とのコメントを残しており、また野球人としても有名で、ワールド、ベースボール、クラシック(WBC)で日本と決勝戦で戦った際も全日本のチームを称賛していますし、自国のチームについても「試合に勝てとは言ってない。ベストを尽くせと言っている。」と名言を残している。

いずれにしましても、小さな蟻が象に喧嘩を売りながら決して矜持をもって怯まなかった一代のカリスマ的英雄の小気味の良い生き方に少しばかり共感できご紹介させていただきました。



幹事報告

織部 秀一 幹事

- ・ 12 月 7 日 (水) の例会は年次総会です。
- ・ 先日の北国新聞に我々が宮川様が会長をされている石川県調理師会が「調理師のいる店」と掲げる看板を手掛けられたと写真つきで紹介されていました。新聞を回覧しますのでご覧ください。



委員会報告

会員増強委員会 松田 真一 様

11 月 17 日 (木) RI 第 2610 地区の「ロータリー情報委員会」

(小矢部クロスランドおやべ)

- ・ 岡部ガバナー、下口ガバナーエレクトはじめ 26 クラブ 37 名の参加
- ・ 小矢部 RC 地区情報委員長山本護氏の司会で「語り合おうロータリーの魅力!繋いでゆこう未来へ」をテーマに会議は進められました。小松 RC 徳田八十吉氏、富山未来 RC 青山和也氏の発表がありました。
- ・ 入会 3 年未満の方が加わった 5 つのグループに分かれ意見交換後グループ発表を致しました。家庭集会でもテーマになったことがあると思いますが色々意見が出されました。まとめてみましたので、当クラブでも参考にできればと思います。



「ロータリーとは」

- ・ 年齢、業種、経歴を超えて語らえる場所
- ・ 声をかけてもらえる、自分の立ち位置があることに価値を感じる
- ・ 一人ではできないボランティア活動でもみんなと一緒にできる
- ・ 仲間ができる。野球チームを作った RC がある(新湊 RC)
- ・ 色々な経験された深い話を聞ける場所、ステータスを感じる
- ・ 職業奉仕が魅力、人間力、視野が広がる、親睦を深めることができる
- ・ 経営のヒントがある
- ・ 奉仕活動を通しての人との出会い、交流ができる
- ・ 活動の中で自分を成長させることができる
- ・ 友人、知人を増やせる

委員会終了後、リアル下町ロケットの著書で有名な北海道の町工場が宇宙開発に挑んでいる話で、作者の植松電機社長の植松氏の講演がありました。小矢部の小中学生 500 名を招待し「夢メッセージ」というテーマで大変感動する講演でした。

11 月 20 日(日) 13:30～

第 2610 地区第 4 回職業奉仕委員会 (石川県地場産業振興センター)

- ・ 各グループに分かれて勉強会の意義について話し合いをし、発表を致しました。
- ・ 地区委員長の講演



・話し合いの内容(ロータリー歴史探訪)

富山みらいRCの地区村山職業奉仕委員長を中心に実施されている、ロータリーの歴史資料をみんなで読みながらロータリーを学ぶ会を各ロータリーでやってみましょうというお話をされておりましたが、少しずつ実践するクラブができてきました。ロータリーの歴史を知ることにより楽しく参加できるとともに、会社経営や会員増強にもつながっていくのではないかと考えています。新入会員だからではなく、RC会員として歴史を一度みてみるのもいいのではと考えています。奉仕委員会、理事会にて検討できればと考えています。

第2回 家庭集会報告

テーマ

2016年規定審議会決定内容に対する当クラブの対応について

- ・例会の頻度・形式・出席に関する柔軟性について
- ・入会金の緩和について 等

第1班

リーダー：上田 一治 様

サブリーダー：中村啓二郎 様

メンバー：山田様、西村様、新保様、柳川様

10月20日(木) 18:30～ 「割烹 みや川」



各テーマについて話し合った結果、初めは当クラブにおいては例会の出席、欠席については変更する必要はないという意見が大多数をしめた。

ただ、サブリーダーの中村啓二郎さんのお話では「なぜ、ロータリークラブが中身を変更するのかみなさんわかっていますか?」とあり、単に入会しやすくするにはどうするかという簡単な問題ではなく世界のロータリークラブではいま何が起きているのか、ロータリアンの減少、会員の高齢化等あげられるため、柔軟性をもって話し合いをおこない、解決する必要があるのではないかと。しかし人を入れるのは簡単では無く、誰でもよいわけでの無い。ロータリークラブは限られた人が入会できるステータスな会であり、異業種の集まりである。その反面、現在では異業種の交流については珍しくなりつつある。ロータリークラブは何のために活動するのか、クラブの目標を考えロータリークラブの運営に当たるべきである。

たとえば、新入会の方は知りませんが、ラオスプロジェクト等をやっていた目的もありましたが、そういった活動をしていたことも知らない会員もいますので、そういうことを告知しながら、認識を高めていきたい。

第2班

報告者：北潟 克輔 様

リーダー：清水様、サブリーダー：舟元様

メンバー：織部様、兼田様、北潟様、金子様、田嶋様

11月7日(月)「割烹みや川」





1. 例会の曜日と時間を自由に決定する
 2. 必要に応じて例会を変更または中止する
 3. 奉仕プロジェクトまたは社交行事を「例会」とみなす
 4. 直接顔を合わせる例会、オンラインでの例会、その他両方を交互に行う例会、あるいは両方同時に用いる例会のいずれかを選ぶ
 5. 出席要件、または出席要件を満たさなかった会員の終結に関する方針を緩める
 6. 入会金の緩和
- 以上 6 項目について下記の通りの意見をまとめた。

舟元会長をはじめ、新旧役員および新人会員からなる第 2 班では、名司会の軽快な進行もあり、グローバルなロータリーの実情、石川県の他のロータリーの実情などをお聞きし、規定審議会のテーマの背景を概観して野々市ロータリーを考える機会となった。

結論としては、野々市ロータリーは、すでに例会開催の定例化と自由度が確保されており、必要に応じて変更中止することさえ実施されている。また、奉仕プロジェクトまたは社交行事を「例会」とみなすことも同様。適正運営規模 30 名から 50 名を想定すると、先輩会員諸氏の運営や規定の先進の取り組みがうかがえる。

他の例会では、オンライン例会等のご苦勞もあると聞くが、野々市ロータリーは、互いに顔を合わせ現場に立ち思い、感じることの大切さの中で親交と品格が保たれている。

出席要件等については、多忙であっても互いの職業・人格を尊重する良いムードを受けて各会員が出席努力をしているムードがあり、現状下では例会を減らす必要を感じない。

今後の課題としては、経済状況の急変で、新たなビジネス環境ができつつあり、新しい価値観と手法を実践する若手経営者が多く誕生している現実を踏まえ、互いを学び、歴史や品格を明確にした価値づけ、および飲酒喫煙をせず趣味趣向の異なる若手の「居心地の良さ」「野々市ロータリーでの立ち位置」「ブランドイメージ」「品格」などの『見える化』に、積極的な取り組みが必要である。入会金・会費の緩和については、等価価値をも踏まえ継続検討課題。一人一人が野々市ロータリーを語り、同時に広報を充実する必要を感じた。

オブザーバーに宮川会員のご意見を季節の食材とともにいただくこともでき、大変楽しく盛り上がる家庭集会となった。

第 3 班

リーダー：濱 順次 様

サブリーダー：中島 様

メンバー：中村俊昭様、織田様、長門様、千田様

11 月 15 日 (火) 18 : 30 ~ 割烹 みや川





第4班

リーダー：榎本 いずみ 様

サブリーダー：元尾様

メンバー：瀬村様、松田様、下原様、齊藤様、嘉門様

11月4日(金) 「十二の月」(片町)



第5班

報告者：中川 修一 様

リーダー：石澤様、サブリーダー：本田様

メンバー：竹澤様、矢原様、立石様、松岡様、吉田哲郎様、中川様

11月8日(火)「金沢国際ホテル 鉄板レストラン 高尾」



例会の頻度については、ほとんどの人が月2回よりも現行の週一回が良いという意見。理由は、月2回にすると、今以上に縁遠くなり出席が億劫になり、欠席がますます進むのではないかと。改善策としては、昼中心の方と夜中心の方がおられるので、月次では、例会は昼2回、夜2回にした方がいいのではないかと。

それにより、出席を促進できる。

しかし、そうすると昼と夜に出席する方が分かれてしまい、統一性が無くなる可能性があるが、トータル的に見て、参加が増えるのではないかと。

同様に、入会金においても無料にして、広く門戸を開いていくほうが増員に繋がる。ただし、バッチ等、初期経費は頂く。

新規増員については、例えばJC卒業者など、若い人の勧誘が必要である。野々市は青年会議所がないので、商工会などに目を向ける。

総括

副会長 竹澤 勝志 様

皆様、活発な討議ありがとうございました。今回、地区から規定審議会に関するアンケートが届いており、その都合で早めの時期の開催をお願いした次第です。ここで発表していただいた内容を今後、理事会などで集約し、地区で当クラブの対応の方針として発表していきたいと思っています。



ニコニコボックス

齊藤 邦博 様

卓上の花：バラ 花言葉：愛、一時の感銘

卓上の花：上田様、齊藤様、長門様、西村様、宮川様

舟元 家庭集会ご報告ありがとうございます。本日の





ご意見などについては地区の情報連絡会でご報告させて頂ければと思います。

竹澤 家庭集会報告ありがとうございます。

松田 久々の例会です。

石澤 中川さん 5 班の発表ありがとうございました。

下原 〆切のある補助金対応のため早退します。申し訳ないです。

山口さんスタッドレスタイヤありがとう。安かったわー。

山口 久しぶりの例会参加、すみません。1 か月分のニコニコボックスを寄付させていただきます。

本田 早退します。

中川 PET 受診しました。ガンの心配もありませんでした。よかったです。また頑張れます。

上田、濱、齊藤

本日の収入額 18,000 円 累計 384,500 円

■閉会点鐘 (13 時 30 分)

写真：西村